

広報

# おおの



# 5月号

平成19年(2007年) No.740

## 特集 中部縦貫自動車道

### 今が正念場「大野油坂道路」 永平寺大野道路の現状

別冊「みつけ」9ページでは広報紙に関する緊急アンケートを実施しています。



### カタクリ咲き誇る

清滝区にある清滝神社南側の斜面に、カタクリの花が咲き誇っていました。鮮やかな紫色が訪れる人の心を和ませます。

(4月12日撮影)



広報紙の概要(携帯版)  
<http://www.city.ono.fukui.jp/mb/m-index.html>

# 国が「道路整備計画」作成中

## 整備開通の効果

### ●近隣都市との距離が近くなります

中京圏や関東圏を最短距離で結ぶ道路であるため、名古屋や岐阜県など、これまで以上に短時間で気軽に行くことができます。

### ●安全な道路が得られます

国道158号は険しい山間を走り急カーブや幅の狭い区間が多く、災害の影響を受けやすい道路です。大野油坂道路が開通すると、国道158号が通行止めになったとしても、代替道路として通行することができます。

### ●緊急時の不安が解消されます

救急救命や災害時でも安心して通行できる道路となります。

### ●地域の活性化が図られます

福井県の東の玄関口として中京圏や関東圏からの観光交流人口の増加や農林産物、各種地場産業などの活性化が見込まれます。またその経済効果は計り知れないものがあります。

# 今が正念場

# 「大野油坂道路」

中部縦貫自動車道は一般国道158号の自動車専用道路です。国では今年中に道路整備に関する中期計画を作成。この計画に中部縦貫自動車道・大野油坂道路が盛り込まれるかどうか、まさに今が正念場です。

市では「真に必要な道路」として早期整備を国に求めています。今こそ地元熱意を強く示しましょう。

### 唯一の生活道路

市街地から油坂峠までを結ぶ国道158号（約四五キロ）は、春は桜や新緑、秋は紅葉など、四季折々の景色を楽しませてくれる道路です。

しかし、大雨、台風などの災害時や降雪時にしばしば土砂崩れや雪崩が発生し、通行止めになることがあります。平成十一年からの七年間に災害による通行止めは十五件（延べ四十四日間）、八年からの十一年間で発生した交通事故死亡事故は十四件で、十八人の方が尊い命を亡くしています。また平成十八年豪雪では、長野地係で発生した雪崩で橋げたがずれて十五日間通行止めとなるなど、危険と隣



整備計画への格上げを目指す大野油坂道路区間

明日へつながる、  
未来へつながる

# 中部縦貫自動車道



## 市長コメント

同自動車道は、福井県と中京および関東を最短距離で結ぶ主要な幹線道路で、医療面などの地域間の連携強化をはじめ、観光振興、産業経済の発展に大きく寄与するものであり、「真に必要な道路」として早期の全線整備が望まれています。今回の永平寺西インターチェンジから永平寺東インターチェンジ間の開通は、沿線市町にとって大きな喜びであります。これを契機に一日も早い福井、大野間の全線開通と大野、油坂峠間の整備促進を図らなければなりません。

今後も大野市では、国、県と一丸となり、中部縦貫自動車道の早期完成に向けた整備に必要な財源の確保と、より一層の整備促進に取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

り合わせの道路となっており、和泉地区民にとっては唯一の生活道路です。安全で安心して走ることができる道路整備が求められています。

## 永平寺大野道路の現状

もつ一方の永平寺大野道路(福井大野間二六・四\*)は平

成二年十一月の整備計画策定後、用地買収が進められてきました。今年二月末現在の用地買収率は約八七%(大野管内では八八%)。永平寺町、勝山市での早期整備と、一日も早い市内での工事着手が待たれています。

圃 幹線道路課幹線道路係  
(☎ 66・1111内線371)

## 整備促進に弾み 「永平寺西一東間」開通

中部縦貫自動車道「永平寺大野道路」の永平寺西インターから永平寺東インター間約1.6\*が3月17日に開通し、開通区間は越坂トンネル区間を含め約3.4\*となりました。

開通式には福井県知事や地元選出の国会議員をはじめ、福井市、大野市、勝山市、永平寺町の沿線首長、地元住民代表など、約200人が参加しました。



永平寺大野道路(約26.4\*)の整備区間



約200人が参加して行われた開通式

### アンケートに協力を

国土交通省では、中期計画を作成するにあたってアンケートを実施しています。ホームページでも回答することができますので、ご協力をお願いいたします。

アンケート設置場所 市役所、道の駅「九頭竜」  
※ホームページでも回答できます

<http://www.douro-keikaku.jp/>

締切 7月31日(郵送の場合、必着)

圃 国土交通省道路局中期計画作成担当

(☎03・5253・8111内線37384)

# みんなで食守！ 笑顔でいただきます



国の食育基本法は食育を生きる上での基本と位置付けています。施行を受けて市ではこれまで小中学校での授業や地域での栄養指導などで行ってきた食に関する取り組みをさらに進めるため基本理念を「食守」とする「越前おおの食育推進計画」を策定しました。

食を理解することは、健康や食文化を守るだけでなく、地域の環境や産業を守ることにつながります。食守を正しく理解し食育しましょう。

## 「食守」とは

市民、家庭、地域、学校、生産者、行政など食育を進める担い手により食を守り、食によって健康な身体や伝統などを守っていくという考え方に基づいています。

食を守る担い手は多種多様であり、それぞれが役割を分担しながら取り組みを実践していくことが大切です。

として、あらゆる機会や場所を利用して実践

・**家庭** 家庭生活や家庭教育を通じた継続的な取り組み

・**地域** 地域特有の食文化の普及と次世代への伝承

・**学校や幼稚園、保育園** 食事をはじめ、子供たち自身が食を考える習慣を身に付けることができる料理や農業体験などの取り組み

・**生産者、食品関連業者** 安全・安心な食べ物や地元食

・**市民** 食を守る強い担い手



産業政策課政策推進係  
☎ 66・1111内線3992

## 概要版を全戸配布

材の提供、体験の場の提供  
・**行政** 教育・健康・福祉・産業など各分野の取り組み推進と連携、活動への支援

市では計画の概要をまとめた冊子を作製し全戸に配布。食守を正しく理解してもらい食育を実践してもらうための具体的な取り組みを進めていきます。

## 「食守」推進の基本目標

### 食を守る

「みんなで食守！笑顔でいただきます」運動の推進

市民一人ひとりが「食育」を考える機会を提供します。

### 食で守る

規則正しい食生活習慣の定着

規則正しい食生活習慣を身に付ける取り組みを、子供から高齢者まで全ての人が行うべき

重点項目としてとして取り組みます。

伝承料理など、食文化の普及と伝承

地方に伝わる郷土料理や行事食などには固有の意味があり、地域の食文化やその歴史について学んでいくことは大切なことです。子供たちの体験や交流などを通して、伝承料理などの食文化の普及と伝承に取り組みます。

感謝の心を育む

自然や生産者への感謝の心や食を大切にする心を育て、合わせて自然環境の保全や環境調和型農業の推進に積極的に取り組みます。

## 国の農業政策転換に対応

# 新ビジョンで特産物ブランド化など

四月から国の農業政策が大きく変わりました。市では新たな政策への対応や市政の柱となる「越前おおの元気プラン」に対応するため、平成十五年に策定した「おおの型 食・農業・農村ビジョン」を見直しました。新ビジョンでは、市の農業・農村全体を「越前おおのブランド」として確立することを基本理念に、大野の農業が持続的に発展していくことを目指します。

### 集落営農推進など

国は農作物ごとの価格に着目した経営所得対策から、経営全体の所得に着目した対策に転換。また担い手中心の構成へと再編するため、農業生産法人など一定の条件を備える集落営農を対象に経営所得対策を講じることとなりました。

## 経営安定に向け法人を設立



農事組合法人  
グリーンコーポ麻生嶋  
代表理事組合長  
竹田 善和 さん

下麻生嶋区では、農事組合法人グリーンコーポ麻生嶋を設立し、水稻、麦、ソバとを組み合わせることで経営の安定化を図っています。将来、専従職員が確保できたら、有機農産物や地区独自の農産物などにも取り組みたいですね。今の若い世代が担い手となる10年後、20年後の農業経営の受け皿の一つとなれるようにしていきたいです。

### 特産物に独自支援

当市の特産物や有機栽培など付加価値の高い農作物の振

- ▼ 市ではビジョン改訂の中で次の五つの基本方針を柱とし国の政策に沿った担い手を育成します。
- ▼ 環境に調和した農業の推進
- ▼ 農産物の総ブランド化推進
- ▼ 魅力ある「大野の食」の提供
- ▼ 多様な担い手の確保と育成
- ▼ 快適な農村形成と都市との交流

興を図る独自の施策を導入し、ブランド化を推進しています。

- ▼ 有機農業など環境に調和して生産された米を「越前おおの米」というブランド米に位置付け、売れる米づくりに目指します。
- ▼ 特産物であるサトイモや穴馬スイートコーンなどは、意欲ある兼業農家が積極的に取り組むことができる独自の支援奨励策を展開します。

- ▼ 付加価値を高めるための加工品開発を促進し、新たな越前おおのブランドを開発します。
- ▼ 生産者の顔が見える農産物を販売する直売システム、インターネットなどを利用した販売、海外市場も視野に入れた販路開拓などを展開します

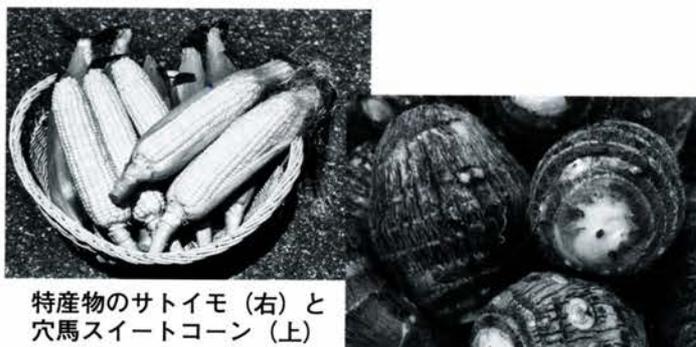
### 推進委員会を設置

ビジョン実現の着実な推進を図るため、越前おおの型農業推進委員会を設置し、個人の認定農業者の数を四十八人に増やすなど平成二十三年の目標数値に向けた達成状況を検証します。

また当市の農業の将来のために、中・長期的な視点から農家の下支えとなる組織の設立などを検討していきます。

問 農林振興課生産振興係

☎ 66・1111 内線314



特産物のサトイモ(右)と穴馬スイートコーン(上)

# 名水PRで観光誘客

市内には、名水百選「御清水」に代表される湧水地がたくさんあり、名水のまちとして知られています。また、みそやしよゆ、地酒、豆腐など、名水がもたらす特産品が

数多くあります。そこで、名水を活用し、内外からの観光誘客を進めるため、地域住民や行政、大野商工会議所、大野市観光協会などの業界団体が参加し、昨

年十二月に「大野市名水を活かした水先案内実行委員会」を結成しました。

会ではこの「誇れる名水」を活用しながら、さまざまな活動を行ってまいります。

## 特産市開催など

JR越美北線の全線開通に合わせ、六月三十日、七月一日の両日、越前大野駅前で名水特産品を一堂に集めた物産市を開催します。そのほか次の活動を予定しています。

### ◆湧水地の整備

県が認定する、「ふくいのおいしい水」にも選ばれた、石灯籠会館、本願清水、御清水を地元住民の協力のもと、周辺の景観を整備し、癒しの空間を創出します。

### ◆名水ツアーの実施

旅行会社が企画する既存の観光ツアーに、名水スポットを取り入れたモニターツアー

を実施し、関西、中京方面から観光客を誘客します。

### ◆新しい特産品の開発

全国に強くPRできる、名水を活用した特産品の開発に取り組みます。

### ◆名水ブランドの確立

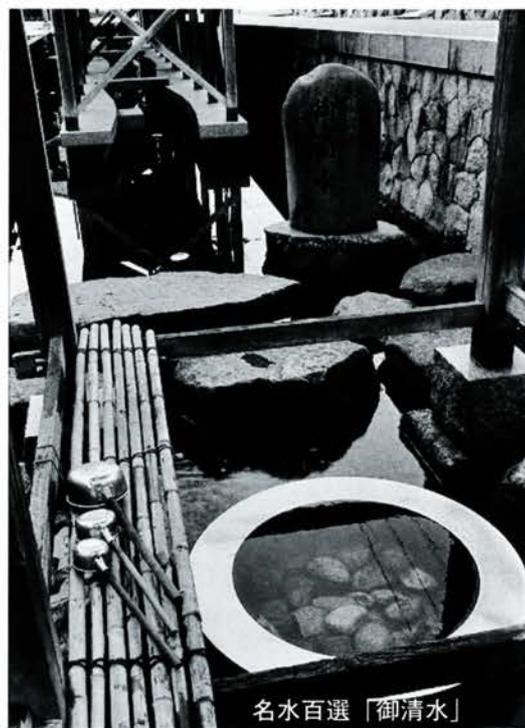
名水を活かした特産品のうち、優れた商品の認証制度を設け、ブランド品として普及

### ◆名水体験

夏暑い時期、打ち水を街頭で行い、気温を下げる効果を調査します。

◆名水フォーラムの開催  
本年秋季に「名水のまち」を全国にPRするため、フォーラムを開催します。

※各活動の詳細が決まり次第、広報おおのなどで周知していきます



名水百選「御清水」

## ロゴマークの愛称募集

実行委員会では、名水の水滴をイメージしたロゴマークを作成しました。今後の活動や、名水特産品などに使用します。今回、ロゴマークの愛称を募集します。

- ◆**応募資格** 市内に在住または通勤している方、または大野出身者
- ◆**応募方法** 任意の用紙に住所（または職場、出身地）・氏名・電話番号を記入し、封書、ファクスまたはEメールで。ただし応募1点につき、用紙1枚かEメール1通とします
- ◆**応募締切** 5月31日(木)
- ◆**賞品** 最優秀作品1点には名水特産品セット
- ◆**審査・発表** 6月中旬に審査委員会を開催し決定、6月30日に発表します。
- ◆**問** 総合政策課地域政策係 (☎66・1111内線431 FAX66・8371) 〒912-8666大野市天神町1-1 Eメール sosei@city.fukui-ono.lg.jp



問 総合政策課地域政策係  
(☎66・1111内線431)

# もてなしの心で「喜び」「満足」「感動」

市が誇る自然環境、歴史、文化、伝統などの観光資源の魅力を最大限に生かすため、もてなしの心の提供を基本理念とした「越前おおの観光戦略プラン」を策定しました。

## 策定の背景

近年、自然や体験、地元住民との交流を目的に市を訪れる観光客が増えており、これまでの施設やイベントを中心とした観光客の呼び込みは見直しが迫られています。

こうした状況からプランでは、市民を「もてなし」の主人公、関係団体は「越前おおのブランド」の発信者、事業者は魅力ある「越前おおの」の開拓者、行政はプラン実行のエンジン役としてそれぞれの役割を示しています。

計画の期間は、平成十九年度から二十三年度までの五年間で、五つの基本戦略を柱に推進していきます。また観光

客数百七十万人以上など、項目ごとに具体的な目標数値を設けて管理していきます。

## 最高の素材前面に

人情味あふれる市民の気質は、観光客が触れ合っていることができる最高の素材です。関係団体はもちろん、市民も含めた市全体で「もてなしの心」の向上を図ります。

具体的にはまちなかの商店に観光地図を置くほか、市民が率先して観光案内をしたり、沿道の軒先に季節の花を飾ったりして観光客への心づかいが温かく感じられる町を目指します。また市の魅力を新聞やテレビ、ラジオを活用して、県内外に親切でわかりや



ボランティアガイドの観光案内

すく発信します。市職員自身がセールスマンとなって「越前おおのブランド」の宣伝活動の充実を図ります。

☎ 観光振興課観光企画係  
(☎ 66・1111内線161)

## 県知事・県議会選挙結果

任期満了に伴う県知事・県議会議員選挙が四月八日に行われました。

(自由民主党・59歳)と山田庄司氏(自由民主党・70歳)が当選しました。

即日開票の結果、県知事には西川一誠氏(無所属・61歳)が当選しました。また県議会議員選挙の大野市選挙区(定数2)は、山岸猛夫氏

今回の当市知事選の投票率は七六・四二%、県議会議員選挙大野市選挙区の投票率は七六・三七%でした。

## 選挙の記録

- ◎当日の有権者数  
男 14,814人 女 16,597人  
計 31,411人  
【知事選挙】
- ◎投票者数と投票率  
男 11,288人 (76.20%)  
女 12,717人 (76.62%)  
計 24,005人 (76.42%)
- ◎有効投票 23,410票
- ◎無効投票 594票
- ◎その他 1票  
【県議会議員選挙】
- ◎投票者数と投票率  
男 11,280人 (76.14%)  
女 12,710人 (76.58%)  
計 23,990人 (76.37%)

- ◎有効投票 23,687票
- ◎無効投票 303票

## 候補者別得票数

- 【知事】  
当 西川一誠 322,604票  
(内大野市分 19,735票)
- 宇野邦弘 58,486票  
(内大野市分 3,675票)
- 【県議会議員】  
当 山岸猛夫 10,054票  
当 山田庄司 8,542票
- 山崎利昭 5,091票

# 分娩も安心

## 福井大学病院と福井社会保険病院で協力体制確立

全国で産婦人科医師が不足しています。奥越地区で唯一、分娩可能な病院であった福井社会保険病院でも四月から分娩が休止となりました。

そんな中、これから出産を迎える市民の不安や不便を解消するため、福井大学医学部附属病院と福井社会保険病院が協力体制を確立し、より高度な産婦人科医療を提供することとなりました。

### 大学病院の体制整備

福井大学病院はこれまで重症妊産婦を対象とした診療を行ってきました。今回の協力体制整備により医療機器を整備したほか、妊婦外来を従来の週一回から、平日の午後毎日設置したり社会保険病院に通院する患者からの突発的な連絡・受診への対応を行ったりします。

### 診療情報の共有など

妊娠から出産後まで両病院では診療情報を共有したり、診療方法を統一したりしながらサポートします。またそれぞれの時期における両病院の役割は次のとおりです。

#### ▽妊娠中

・外来診察は原則として社会



保険病院で行う

・胎児精密検査（妊娠中期に一回）と分娩直前の健診は福井大学病院で行う

▽分娩は大学病院で行う

▽分娩後三～四日の急性期は福井大学病院で以後は福井

社会保険病院に転院

※異常（腹痛、出血）などの

緊急の場合、福井社会保険病院で対応するほか、福井大学病院でも常時受け入れを行います

なお市内の産婦人科医院を受診した妊婦も、分娩は大学病院や福井市内の産婦人科病院を紹介していますので、医院に問い合わせください。

健康増進課保健医務係

(075) 733330

### 福井大学医学部附属病院

- ・分娩
- ・胎児精密検査（妊娠中期に一回）と分娩直前の健診
- ・異常（腹痛、出血）があった場合の対応
- ・希望する場合、分娩後3～4日の急性期以後の入院受け入れ

### 病院間で診療情報の共有

- ・社会保険病院受診と同時に、大学病院でも診療録（カルテ）を作成
- ・両病院で診療方法を統一

### 福井社会保険病院

- ・外来診療
- ・異常（腹痛、出血）があった場合の対応



# 市の人事異動

四月一日付で、総勢二百三十八人の人事異動を行いました(退職八人、消防本部二十九人含む)。

内訳は、部長級四人、課長級二十八人、課長補佐級三十六人、係長級四十一人、主査級五十九人、主事級三十四人、業務職員二十八人で、うち五人を新採用しました。

## 部長級

**【市長部局】** ▼総務部理事(監理検査担当)・大藤喜代治▼和泉支所長・前幸雄▼会計管理者会計課長事務取扱・谷秀明

**【教育委員会】** ▼教育委員会事務局長・谷脇一治

## 課長級

**【市長部局】** ▼秘書政策局▼秘書課長・金子正義▼総合政策課長・田中雄一郎▼総務部▼生活防災課長・廣瀬吉隆▼監理検査課長・穴田吉晴▼市民福祉部▼市民課長・澤田みち代▼環境衛生課長(兼)浄

化センター所長・佐々木清一

▼健康増進課長(兼)保健センター所長・篠田守一▼和泉診療所長・鶴野千恵▼産業経

済部▼産業政策課長・藤森勉

▼農林振興課長(兼)農業委員

会事務局局長(兼)木材工芸品

加工施設館長・石田光義▼農

林整備課長・嶋田康博▼商工

振興課長(兼)ふるさと公園

サン・スポーツランド所長・

松田輝治▼観光振興課長(兼)

産業文化展示館長・中山継男

▼建設部▼幹線道路課長・中

村浩一▼都市計画課長・森岡

清信▼和泉支所▼住民課長・

宮下隆▼振興課長・道岸孝治

谷口利和▼和泉分遣所長・坂下佳実▼通信指令室長・山田守雄▼総務課長・小林進

## 課長補佐級

**【市長部局】** ▼秘書政策局▼秘書課課長補佐秘書係長事務取扱・西川千鶴代▼総合政策課課長補佐地域政策係長事務取扱・齊藤清英▼総務部▼総務課課長補佐(職員担当)・

國枝勢津子▼総務課課長補佐

(行政担当)行政係長事務取

扱・中村吉孝▼財政課課長補

佐(管財担当)管財係長事務

取扱・小川市右工門▼情報広

報課課長補佐広報広聴係長事

務取扱・山元信子▼生活防災

課課長補佐・櫻井早苗▼監理

検査課課長補佐・佐子重夫▼

市民福祉部▼市民課課長補佐

国保年金係長事務取扱・山田

一郎▼環境衛生課課長補佐

(兼)浄化センター次長・大

久保雅章▼健康増進課課長補

佐・石田純也▼総務課課長補佐(企画調整担当)・大藤利一▼和泉分遣所長補佐・高野清彦▼和泉分遣所長補佐・反保昭雄▼予防課課長補佐・松田佳生

## 新採用

**【市長部局】** ▼総務部▼税務

課・道鎮郁生▼市民福祉部▼

市民課・廣瀬貴宣▼環境衛生

課・山口優▼健康増進課・禅

定康代▼社会福祉課・穴田遥

**嘱託員(新任)**

▼児童館館長・橋本信子▼地

域職業訓練センター所長・山

内武雄

**退職者(三月三十一日付)**

**【一般職】** ▼松田佳子(荒島

保育園長)▼松田つや子(ス

ポーツ課社会体育係長)▼宮

原章一(生活環境課市民生活

係長)▼清水清隆(税務課主

査)

**【消防吏員】** ▼中村和男(消

防署副署長)

**【業務職】** ▼小林ひな子(小

山小学校)▼松田義信(上庄

小学校)▼金森せつ子(森目

小学校)

**【消防本部】** ▼総務課課長補

佐・宮越剛生▼荒

島保育園長・安田江美子▼和

泉保育園長(兼)和泉児童セ

ンター館長・帰山つゆ子▼産

※4月号の記事に誤りがありましたので、おわびして訂正します。  
・8ページ 市史編さん室の所在地は文化会館内ではなく、図書館(天神町2-4 ☎65・5500)内でした。